

手洗いチェッカーの実際



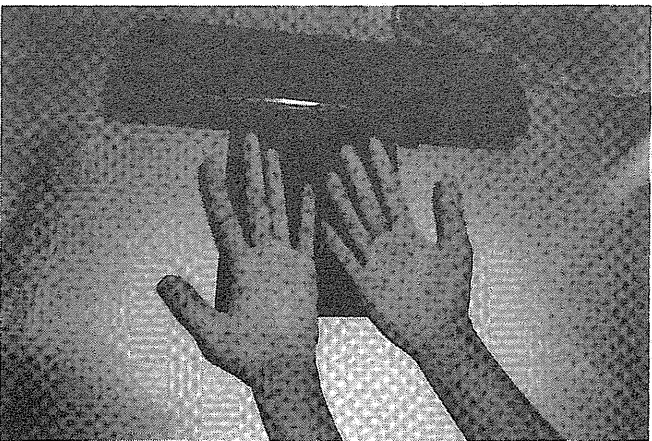
ブラックライトにて塗残しの確認



実際の確認風景



手洗いシンクの飛び跳ね状況



ブラックライトにて洗い残しの確認

評価

11月12月

手指消毒剤と同じように擦り込んでもらった結果、擦り込みの不備が多いことがわかった。流水での手洗いは、15秒以上行っていた。

上記の結果のほか、指先や爪の間、指の間の洗い残しも多かった。

以上係スタッフ評価

チェックする場所を詳細に伝えていなかったため、チェック者の違いにより、評価する場所も違い、比較が難しい。

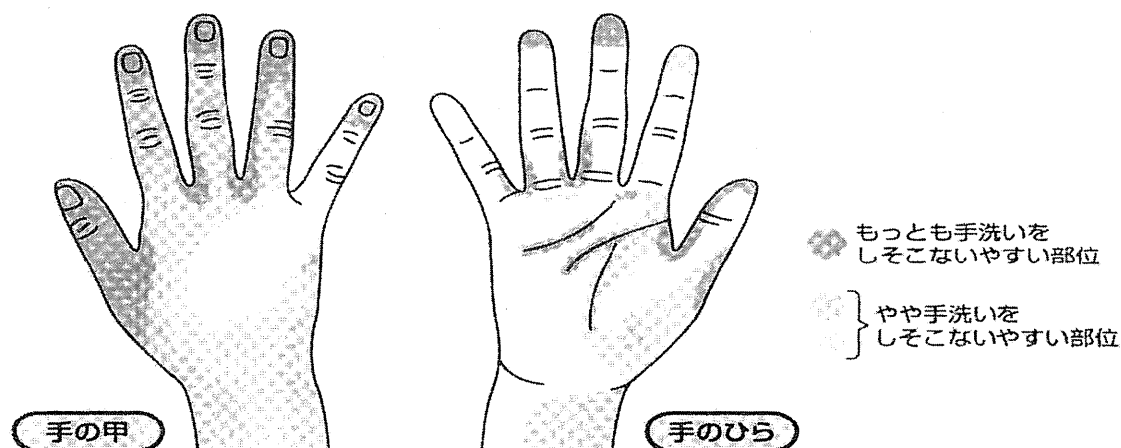
2月

11月（12月）と2月の実施の比較では、前回の指の間、親指の付け根など、洗い方の指導を一部の人には行ったためか、前回より洗い残しが減った。

指先、爪は、洗い残しが多く、手指消毒剤の追加で、より手の清潔が図れることを伝えた。

全体として、チェックされるという意識により、普段より丁寧に洗っているスタッフは多かった。自分の洗い残しの部分を知る機会としては教育のひとつとしてよいと考える。

手洗いをしそこないやすい部位



最後に、今回のアウトブレイクによって手指衛生の重要性を再認識しNICUへ介入する。同じように他病棟でもアウトブレイクは起こり得る。今後、院内全体の手指衛生の効果的な実施・遵守率向上を目的に継続的な監視及び教育が必要である。

参考文献

- 1) 小林寛伊, 大久保憲, 尾家重治: 消毒・滅菌の実際. 小林寛伊編集. [改訂]消毒と滅菌のガイドライン. へるす出版, 東京, 2004 ; 8-35.
- 2) 矢野久子, 小林寛伊: 手洗い. 小林寛伊編. 感染制御学. へるす出版, 東京, 1996 ; 361-368.
- 3) 大久保憲: 手洗いと手指衛生. 小林寛伊, 吉倉廣, 荒川宜親, 倉辻忠俊編集. エビデンスに基づいた感染制御 - 第2集 - 実践編. メヂカルフレンド社, 東京, 2003 ; 3-13.
- 4) HICPAC, et al: Guideline for Hand Hygiene in Health-Care Settings. MMWR 2002 ; 51(RR-16) : 1-45.
- 5) 大久保憲訳, 小林寛伊監訳. 医療現場における手指衛生のための CDC ガイドライン. メディカ出版, 大阪, 2003.
- 6) 永井謙一訳: 手洗いと病院環境整備のためのガイドライン. ナースプラスワン 1991 ; 1 (suppl) : 131-152.
- 7) Larson EL : APIC Guideline for handwashing and hand antisepsis in health care settings, 1995. Am J Infect Control 1995 ; 23 : 251-269.
- 8) Garner JS, Favero MS : CDC guideline for handwashing and hospital environmental control, 1985. Infect Control 1986 ; 7 : 231-243.

2011.3 感染管理者 後関

パートⅡ－(5)－④

N I C UでのM R S Aアウトブレイク
に伴った監視培養結果について

研究協力者 後関 義之



NICU での MRSA アウトブレイクにともなった監視培養結果について

NICU において、3月、6月、9月より MRSA 感染者、保菌者が増加しアウトブレイクが認められた。3月、6月にも感染対策追加等行ってきたが、新規 MRSA 患者が出生間もない時期に保菌、感染され検出が続くことで、何らかの対策が必要と考え今回、職員、患者、環境の培養を行い結果が出たのでここに報告いたします。

アウトブレイク時に追加した対策

- ・3月に入院患者への対応時、手袋装着
- ・7月2日より、NICU 入院患者に対して接触予防策実施
- ・7月15日より全入院患者に上記実施
- ・9月1日よりフロア内の清掃を、チェックリストを用い徹底
- ・9月21日より GCU 内でコホーティング
- ・10月7・8日時点で入院している全患者の培養検査
- ・10月18日環境培養
- ・10月26日面会椅子の変更
- ・11月1～8日職員の鼻腔・手指培養実施(手拭き後、採取)

培養結果

1. 全患者

10月6日までに検出されている患者は12名、今回の検査日に採取した患者数は40名で、そのうち1名が新規検出者1名。

2. 環境培養

共有部分、数名の患者周辺、クベース内、高度接触面等54か所実施した結果、MRSA は検出されなかった。MSSA が紫のライン挿入用ライトから検出された。CNS が検出された場所として、クベース児の個人モニター接続部、聴診器、オムツ引き出し取っ手、クベース操作パネル、窓枠、操作ボタン、つまみ類、OG チューブ概則で検出された。その中でも聴診器が一番多く検出されている。共有部分については、オムツスイッチが数十個と多く、包交車のとってからも検出されている。

3. 職員

今回、71名の検査を行った。鼻腔の MRSA 検出率は、5.6%。手指培養検査は流水下での手洗い後に実施し、59%に何らかの検出があった。鼻腔培養では CNS が多く検出されている。

ICT としての考察と今後の対応策

MRSA 保菌者は、文献等の数値と同様の結果が出た。手指からの検出が多くみられたことから、手指衛生の方法の監視、首から上は保菌状況を考えても、勤務時は触れないことが重要である。

特に、今後は手指衛生がしっかり行われているか手順を踏まえ確認していくことが最も大切で、さらには、ケアや処置時の実施タイミングを確認し指導していくことが必要である。また、鼻腔、手指ともに CNS が多く検出されているが、これも侵襲的処置では感染の起因菌となりうるので注意が必要である。

今回の職種別では、医師の手指からの検出は他職種に比べて少なく、外科系の医師ということもあり、手指衛生の訓練がなされている結果といえる。

対応策

- ① 看護師・コメディカルを中心に手指衛生の再指導を行っていく
実施状況の評価（グリッターバグ等）
- ② ケア処置における手指衛生のタイミングの再確認、及び徹底していく
- ③ 肺炎球菌の保菌者の対応→咳エチケットおよび体調不良時の報告徹底
- ④ 手袋装着によって手指衛生の遵守低下の懸念→手袋装着は手指衛生の代わりにはならない

血流感染から分離された病原体

病原体	1992-1999 (%)
コアグラールゼ陰性ブドウ球菌	37
黄色ブドウ球菌	13
腸球菌	13
グラム陰性桿菌	14

CDC NNIS システム報告より

最後に今回の検査のご協力ありがとうございました。今後も NICU での感染が低減できるよう協力体制を構築していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。今回のアウトブレイクは今後の感染対策をしていくうえで重要な時間だったと確信しています。また、これで終わりではなくはじまりであると考えていますので協力の程よろしくお願いいたします。

感染対策委員会 文責 感染管理者 後関

	鼻腔	菌量	手	菌量
N-1	MSSA	3+	—	
2	MSSA	2+	CNS	少数
3	CNS	少数	CNS	少数
4	CNS	2+	—	
5	CNS	2+	CNS	少数
6	CNS	2+	CNS	ごく少数
7	MSSA	+	CNS	ごく少数
	CNS	2+		
8	MRSA	2+	CNS	少数
	CNS	+		
9	CNS	+	CNS	+
	コリネバクテリウム	2+		
10	CNS	少数	CNS	少数
11	MSSA	3+	CNS	少数
12	CNS	+	CNS	少数
	G-R	少数		
13	CNS	2+	CNS	+
14	MSSA	+	—	
	CNS	+		
15	CNS	2+	CNS	少数
16	CNS	3+	CNS	2+
17	MRSA	3+	MRSA	少数
18	CNS	3+	CNS	少数
	コリネバクテリウム	3+		
19	CNS	3+	CNS	少数
20	MSSA	2+	—	
21	CNS	2+	CNS	少数
22	MSSA	3+	—	
23	CNS	2+	—	
24	MSSA	2+	CNS	+
	CNS	2+		
25	CNS	3+	—	
26	CNS	少数	—	

	鼻腔	菌量	手	菌量
N-27	CNS	少数	—	
28	CNS	3+	—	
29	CNS	2+	CNS	+
	コリネバクテリウム	+		
30	CNS	+	CNS	+
31	CNS	3+	CNS	少数
32	CNS	3+	CNS	+
33	CNS	3+	—	
34	CNS	3+	CNS	少数
35	CNS	3+	CNS	少数
36	CNS	2+	CNS	少数
37	CNS	2+	—	
38	MSSA	2+	CNS	少数
39	CNS	+	—	
40	MSSA	+	—	
	CNS	2+		
41	CNS	3+	CNS	+
42	CNS	+	—	
43	CNS	+	CNS	少数
44	肺炎球菌	3+	CNS	少数
	CNS	2+		
	コリネバクテリウム	2+		
45	コリネバクテリウム	3+	—	
46	CNS	3+	CNS	少数
47	CNS	+	—	
	コリネバクテリウム	+		
48	MSSA	3+	MSSA	少数
49	CNS	2+	CNS	少数
50	CNS	2+	CNS	少数
51	CNS	3+	—	
	コリネバクテリウム	2+		
52	CNS	3+	CNS	少数
	コリネバクテリウム	2+	G+桿菌	少数

	鼻腔	菌量	手	菌量
N-1	CNS	3+	CNS	少数
	コリネバクテリウム	2+		
2	CNS	3+	CNS	少数
3	MRSA	+	—	
	コリネバクテリウム	+		
4	CNS	2+	—	
	コリネバクテリウム	2+		
5	CNS	3+	CNS	少数
6	CNS	2+	CNS	少数
	MSSA	+		
7	CNS	3+	—	
8	CNS	3+	CNS	+
	コリネバクテリウム	3+		
9	MSSA	3+	—	
	コリネバクテリウム	2+		
10	CNS	3+	—	
	コリネバクテリウム	3+		
11	CNS	+	—	
12	CNS	3+	—	
13	CNS	少数	—	

	鼻腔	手	両方
N=MSSA	11人	1人	1人
N-MRSA	2人	1人	1人
D-MSSA	2人	0人	0人
D-MRSA	1人	0人	0人
ME-MSSA	1人	0人	0人
ME-MRSA	0	0	0
J-MSSA	2人	2人	2人
J-MRSA	0	0	0
R-MSSA	0	0	0
R-MRSA	1人	0	0

	鼻腔	菌量	手	菌量
ME-1	CNS	3+	—	
	コリネバクテリウム	3+		
2	MSSA	3+	—	
	コリネバクテリウム	3+		
J-1	MSSA	3+	MSSA	少数
2	MSSA	3+	MSSA	2+
R-1	MRSA	+	CNS	ごく少数
	CNS	+		
	コリネバクテリウム	+		
2	CNS	+	CNS	ごく少数
	コリネバクテリウム	+		

2010年 新生児センター内環境培養実施場所

検体No.	採取場所	採取時変更、その他詳細を記入	MRSAの有無	備考
1	ミルクウオーマー取っ手		—	
2	乳首缶取っ手		—	グラム陽性桿菌 2コ
3	乳首用鑷子	中止		
4	ブルーカートの引き出し		—	
5	GCU検温ワゴンのはさみ		—	
6	GCU赤外線体温計(MRSAエリア)		—	
7	GCUMRSA側テーブル		—	S.co(-) 1コ
8	授乳室体重計スイッチ、コンセント		—	S.co(-) 1コ
9	温蔵庫取っ手		—	
10	冷蔵庫(NICUフロア白)の取っ手		—	
11	浣腸液(約半分使用したもの)のキャップ		—	
12	NICUテーブル		—	
13	調剤室冷蔵庫取っ手		—	
14	包交車引き出し取っ手		—	S.co(-) 5コ
15	(MRSA用)椅子(手が触れる部分で)		—	
16	7.8間のオムツ計測器スイッチ		—	S.co(-) 20コ
17	12番聴診器		—	S.co(-) 10コ・カンジダ 1コ
18	12番はさみの持ち手部分		—	
19	12番ストップウォッチ		—	
20	12番ユニット電気スイッチ		—	
21	12番モニターアラーム消音ボタン		—	S.co(-) 1コ
22	12番オムツ引き出し+クベース操作ボタン		—	S.co(-) 2コ
23	12番シリンジポンプスイッチ		—	
24	10番呼吸器FiO2つまみ		—	
25	12番吸引のつまみ		—	
26	12番吸引用湿布缶	中止		
27	12番保育器内のモニタコード(SpO2巻く部分)		—	S.co(-) 1コ
28	12番保育器内のモニタコード(接続部分)	中止		
29	12番呼吸器固定具		—	S.co(-) 1コ
30	9番患児の頭周囲のベッド面		—	
31	9番OGチューブの外側		—	S.co(-) 2コ
32	12番クベース窓わく(向かって右の白いゴム部分)		—	カンジダ 1コ
33	1番オルゴール		—	S.co(-) 1コ
34	1番はさみ		—	

共有部分

M R S A 検出患者周辺環境

検体No.	採取場所	採取時変更、その他詳細を記入	結果	備考	
35	1番血圧計マンシェット		—		
36	1番モニタ(血圧スタート、アラーム確認)	中止			
37	1番ブレンダー—酸素流量つまみ		—		
38	12番ブレンダー—酸素流量計つまみ		—	S.co(-) 1口	
39	1番ジャクソンリース内水		—		
40	コート		—		
M R S A 未 検 出 患 者 周 辺 環 境	41	4番ミルク用ポンプスイッチ	—		
	42	6番ストップウォッチ	—		
	43	6番聴診器		—	S.co(-) 3口
	44	6番モニタアラーム消音ボタン		—	
	45	6番保育器内モニタコード		—	S.co(-) 3口
	46	6番患児の頭周囲のベッド面		—	S.co(-)2口
	47	12番クベース窓わく(向かって右の白いゴム部分)		—	S.co(-)2口
	48	11番ブレンダー—酸素流量計つまみ	中止		
49	6番シリンジポンプスイッチ		—		
検 査 機 器	50	血糖測定器		—	
	51	血ガススイッチ		—	
	52	検査台	中止		
	53	エコープローベ		—	
	54	エコー操作部分ボタン類		—	
	55	ライン挿入用ライト		—	MSSA 1口
	56	眼底検査用ワゴン		—	
追 加	57	PC		—	
	58	カルテ		—	S.co(-) 1口
	59	フローシートの板		—	
	60	院内蘇生搬送用クベース(前面のフック)		—	

感染対策は手洗いから… 手洗い方法の確認に

スタンド型 手洗いチェッカー BLB

専用ローションを手についた汚れに見立てて、特殊ライト下で光らせます。
きちんと洗えていない部分が光るので、
適切な手洗いが実施できているのかを確認できます。

明るい場所でも
見やすい!

多人数での 手洗い評価に最適

ライトまわりに囲みのない
スタンド型なので、多人数で
手洗い評価ができます。教育
ツールとしても最適です。



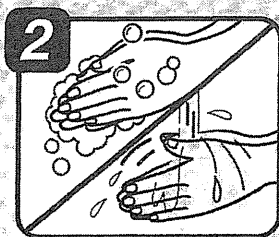
洗い残しが
光ります

スタンド型手洗いチェッカーBLB の使用方法

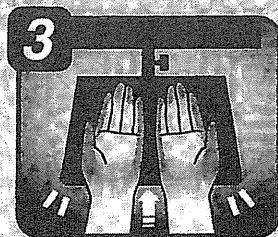
※詳細は使用説明書をご覧ください。



専用のローションを1プッシュ（約1mL）手に取り、まんべんなくぬり広げます。



手洗い用石けん液を使って、手洗いを行います。



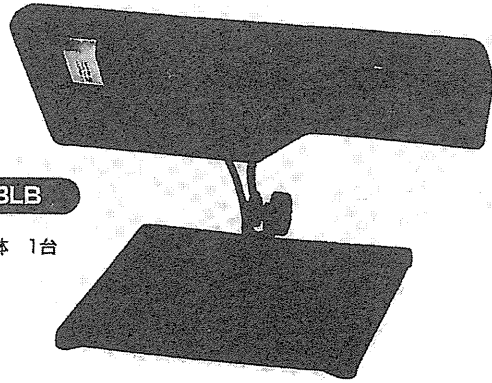
スタンドに手をかざします。



洗い残した部分が光ります。適切な手洗いができているかチェックします。

SARAYA

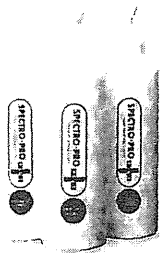
セット内容



スタンド型手洗いチェッカー-BLB

スタンド型手洗いチェッカー-BLB 本体 1台

専用ローション



医療向手洗いチェッカーローション
250mL×3本

手洗い石けん液



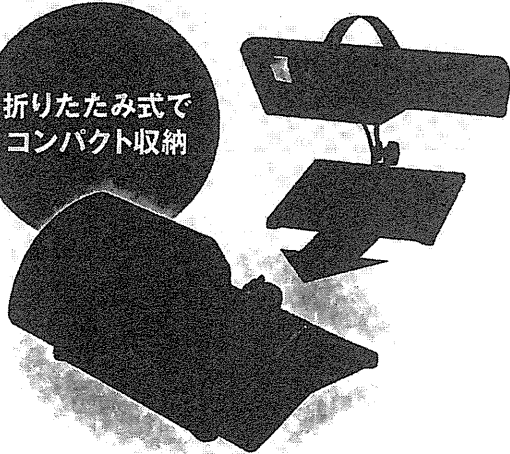
薬用手洗い石けん液
シャボネット石鹸液F(医薬部外品)
500mL×1本

手洗手順シール



「正しい手洗手順」シール
1枚

折りたたみ式で
コンパクト収納



仕 様

項 目	内 容
名 称	スタンド型手洗いチェッカー-BLB
本 体 外 寸	W295mm × D180mm × H200mm(梱包、付属品は除く。)
製 品 質 量	約1,050g(梱包、付属品は除く。)
材 質	本体……ABS樹脂
電 源	AC100V 50/60Hz 27W
紫外線ランプ電力	27W
紫 外 線 出 力	3.8W
セ ッ ト 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●スタンド型手洗いチェッカー-BLB(1台) ●BLB専用ローション3本セット(250mL×3本) ●薬用手洗い石けん液 シャボネット石鹸液F 扁平ポンプ付(500mL×1本)

品 名	内容量 / 規 格	1コ標準価格(税別)	1梱入数	JANコード
スタンド型手洗いチェッカー-BLB	—	29,800円	1	49-87696-41652-9
医療向手洗いチェッカーローション 3本セット	250mL	12,750円	1	49-87696-41653-6
薬用手洗い石けん液 シャボネット石鹸液F 扁平ポンプ付	500mL 扁平ポンプ付	860円	10	49-87696-23277-8

⚠ 安全にお使いいただくために

- ご使用前に、「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 使用薬液は、当社指定の薬液をお使いください。
他社の薬液では思わぬトラブルの生じる恐れがありますので、お使いにならないでください。

- 製品は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 写真及び印刷の仕上がり上、現品と色合いが若干異なることがあります。
- カタログ掲載製品の詳細については、販売店・専門施工店または当社にお尋ねください。
- このカタログは2010年1月現在のものです。

SARAYA サラヤ株式会社
〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
TEL.06-6797-2525 <http://www.saraya.com/>

サラヤ株式会社の医療従事者向けサイト「Medical SARAYA」です。

HOME > 製品情報 > 手指消毒チェッカー専用ローション

検索

消耗品
手指消毒チェック用ローション
手指消毒チェッカー専用

製品一覧(五十音順)

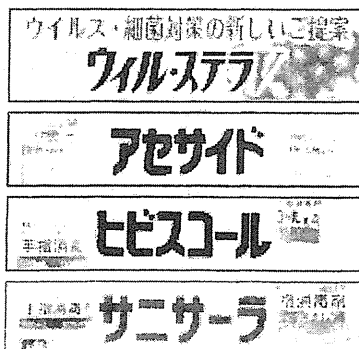
カテゴリー別

- ディスポーザブル式薬液ディスペンサー
- 手洗い石けん液・手洗い剤
- 速乾性手指消毒剤・抗菌性スクラブ剤
- ハンドケア
- 自動手指洗浄消毒器・手指消毒器
- 教育ツール
- 外皮用殺菌消毒剤
- 医療器具洗浄・消毒・滅菌剤
- 環境衛生用品・医療材料
- PPE(個人防護具)
- ボディケア・サニタリー用品
- 健康検査機器



手指消毒方法を確認するための専用ローションです。ローションで手に塗り広げ、チェッカーのライトにかざし、塗り残しがない適切な手指消毒ができているか確認できます。

お知らせ



規格

250mL

商品コード

41657

サラヤ株式会社の医療従事者向けサイト「Medical SARAYA」です。

HOME > 製品情報 > 医療向け手洗いチェッカーローション

検索

消耗品

スタンド型手洗いチェッカー-BLBC

医療向け手洗いチェッカー

製品一覧(五十音順)

カテゴリー別

ディスポーザブル式薬液ディスペンサー

手洗い石けん液・手洗い剤

速乾性手指消毒剤・抗菌性スクラブ剤

ハンドケア

自動手指洗浄消毒器・手指消毒器

教育ツール

外皮用殺菌消毒剤

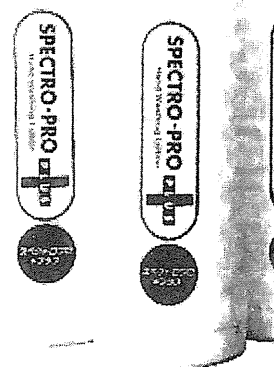
医療器具洗浄・消毒・滅菌剤

環境衛生用品・医療材料

PPE(個人防護具)

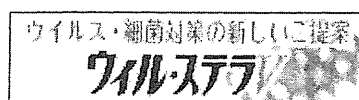
ボディケア・サニタリー用品

健康検査機器



汚れに見立てるための専用ローションです。このローションを石けん液を用いて日常の手洗いをして、チェッカーにかざし判

お知らせ



規格

250mL 3本入

商品コード

41656

パートⅡ－(5)－⑤

手指衛生について振り返ろう！

～吸引・おむつ交換 編～

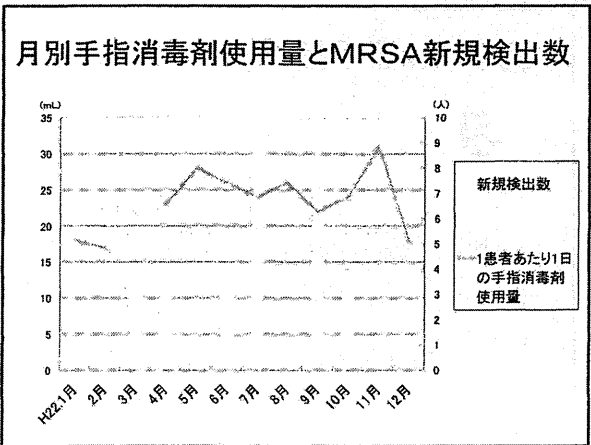
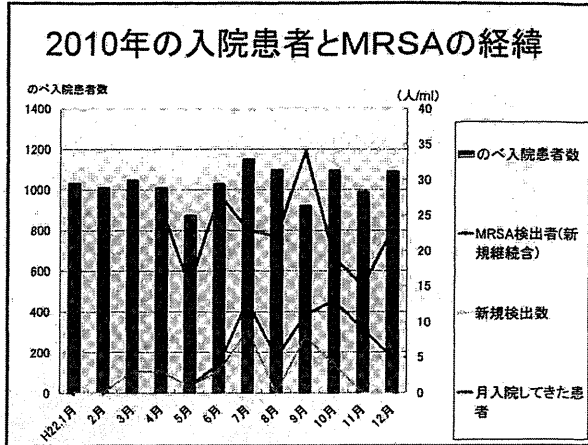
研究協力者 星野智子

手指衛生について 振り返ろう！

～吸引・おむつ交換 編～

感染管理認定看護師
星野 智子

2011年1月27日病棟会議



手指衛生

大切なことは

方法
タイミング
手順を守る

適切な手指衛生方法

目に見える汚れがある場合
排泄物に触れた後
石鹸と流水

石鹸で手洗い

目に見える汚れがない場合
擦式手指消毒剤

手指衛生

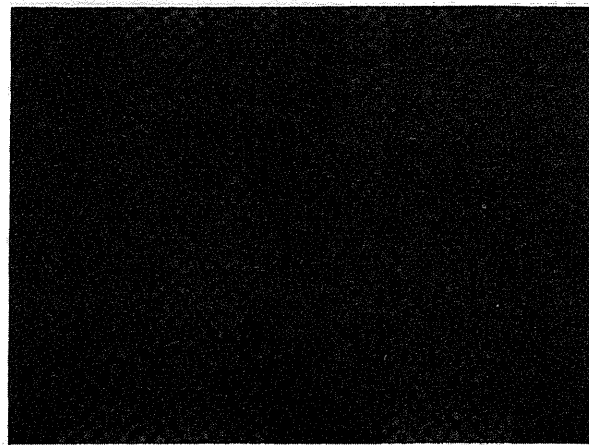
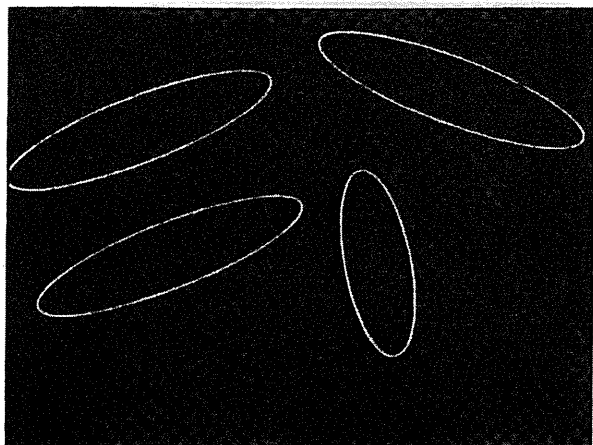
手洗いをしそこないやすい部位

手の甲

手のひら

指先・指の間・手首・親指関節

● もっとも手洗いをしそこないやすい部位
 ○ やや手洗いをしそこないやすい部位

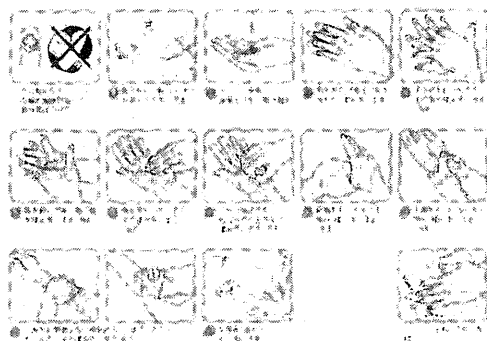


手洗いチェックの結果(一部)

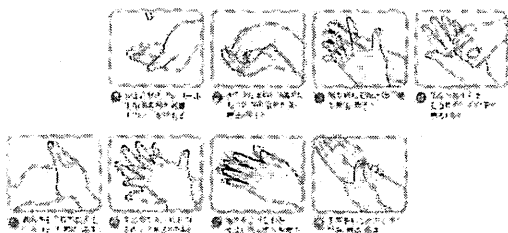
手洗い(流水・手指消毒)不備の部分

	右手(人)	左手(人)
第2関節	2	2
親指	3	4
親指と人差し指の間		4
指先	1	1
親指の付け根	1	
指の間	2	
手背	1	
手掌		
傷部分	2	1

流水による手指衛生(スクラブ法)



アルコール手指消毒剤による手指衛生 (ラビング法)

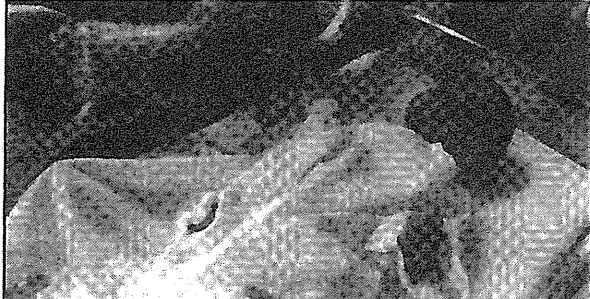


手指衛生の

方法・手順は、ばっちり!

手指衛生のタイミング (ビデオ)

- 整備されていない手指衛生と手袋着用状況



手指衛生のタイミング

整備されていない手指衛生と手袋着用状況

- 2重手袋で、手袋を外すとき、内側の手袋に触れて、汚染してしまう
- 処置が変わる前の手指衛生がない
- 使用後の手袋のまま移動する

手指衛生のタイミング (ビデオ)

- 整備された手指衛生と手袋着用状況



手指衛生のタイミング (ビデオ)



手指衛生のタイミング

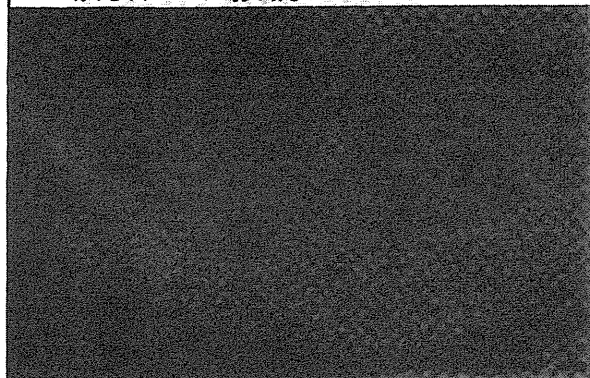
整備された手指衛生と手袋着用状況

- 吸引の前の手指消毒・手袋着用
- 吸引後、吸引チューブを手袋に包むか、ベッドサイドのメディペールへ捨てる
- 吸引後、手指消毒がされている。
手指消毒することで、処置を一区切り

**赤ちゃんの環境を考えた
手指衛生・手袋着脱**

- 吸引後の処理はクベース外で手袋に包む
- 吸引後のチューブのリンスは、接続チューブで吸い上げるとチューブの周囲に水がついたままクベース内に戻すのは不潔。
- チューブは、外さずアルコール綿で拭いて、外す前に吸い上げる。

吸引チューブ・接続チューブの汚染



手指衛生のタイミング (ビデオ)



手指衛生のタイミング

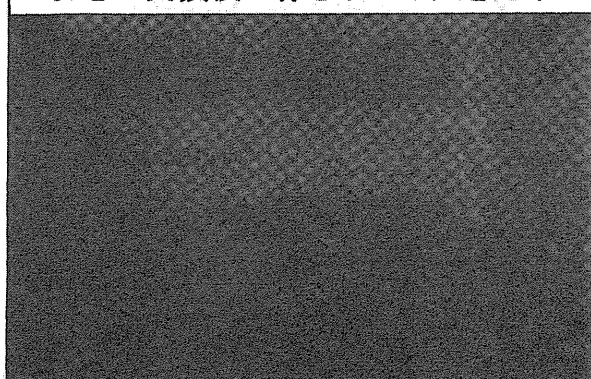
整備された手指衛生と手袋着用状況

- おむつ交換の前、手袋着用前に手指消毒が
できている
- ゴミ袋を準備している(患者ベッドを汚さない)
- 汚染オムツと新しいオムツの区切りで、手指
消毒・手袋交換がなされている。

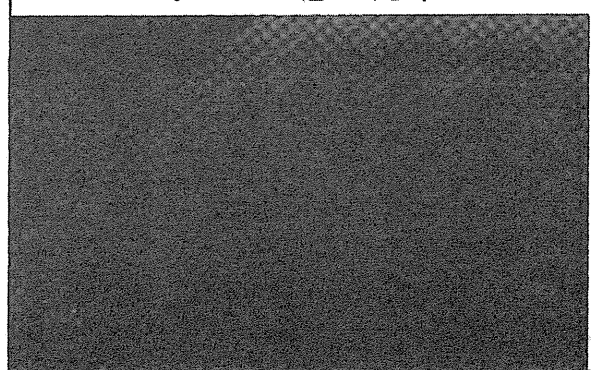
赤ちゃんの環境を考えた 手指衛生・手袋着脱


- おむつ交換は、手指衛生をし、手袋着用後行う。
- 児の陰部ケアを行い、汚染オムツを外したら汚
染エリアは終了し、手袋を外す。
- 新しい手袋に交換し、新しいおむつを装着する。
- 手袋は、なるべくクベースの外で着脱する。
- ケア・処置時のゴミ袋(ビニール袋)の持参

おむつ交換後の赤ちゃんの足を汚染




クベース窓の汚染





- 患者に接する前と後(記録する前後も)
- 清潔操作で扱う部位へのアクセス時
- 点滴作成・交換、呼吸器回路、尿カテ、胸腹腔カテ、術後創部など。
- 違う処置・ケアに変わる前と後
(VS測定→吸引→おむつ交換など)

一連の動作で行っても、
一つずつ処置ごとに区切りをつける



忘れている人に気づいたら声を掛けてあげましょう。
今忘れたかもと気づいていない可能性も大...


まとめ

必ずしも流しに手を洗いに行かなければならない
ということはなく

- 方法を選択し行う。
- 自分の弱い手順はどこでしたか？
- 処置の前、手指衛生のタイミング逃してない？

あっ！今忘れたかも...が、後に大きな後悔に...

そうならないためにも
みんなで手指衛生(手荒れケアも含めて)を！！



パートⅡ－(5)－⑥
成田国際空港における
NBC テロ対策合同訓練結果

研究分担者 星野恵美子

研究協力者 後関義之、鈴木泰江、星野智子